

# 中国語専攻 各年次での到達目標／4 技能の運用能力

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>【聞く】中国語のよく使われる挨拶や日常的表現、基本的な言い回しを聞き取ることができる。</p> <p>【話す】自己紹介や買い物など、中国語での簡単な会話を行うことができる。身ぶり手ぶりその他の手段の助けを必要とするときもある。</p> <p>【読む】ローマ字による発音表記(ピンイン)を手がかりに、簡単な文章を読むことができる。</p> <p>【書く】自分にとって身近な事柄について、中国語の短い語句や文を並べて書くことができる。</p> <p>【語学検定試験】中国語検定3級</p>	<p>【聞く】自分・友達・家族についてや、買い物、食事、学校生活など、身近な話題でよく使われる中国語の文や表現を聞き取ることができる。</p> <p>【話す】個人あるいは日常生活に関係の深い話題について話したり、情報交換したりできる。</p> <p>【読む】ローマ字による発音表記(ピンイン)なしでも、簡単な文章を読むことができる。</p> <p>【書く】自分の身の回りや関心のある事柄について、ある程度まとまった内容を、趣旨が通じる程度に書くことができる。</p> <p>【語学検定試験】新HSK筆記4級・口頭試験中級</p>	<p>【聞く】普段出合うような身近な話題について、標準的な中国語の話し方であれば主要点を聞き取ることができる。</p> <p>【話す】身近で個人的にも関心のある話題や経験、出来事、夢、希望等を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べるができる。</p> <p>【読む】辞書の助けを借りながら、新聞・雑誌や文学作品など、やや難易度の高い中国語の文章を読むことができる。</p> <p>【書く】より広範囲の事柄について、辞書の助けを借りながら、少し複雑かつ抽象的で、ある程度まとまった内容を書くことができる。</p> <p>【語学検定試験】中国語検定2級</p>	<p>【聞く】具体的な話題のやや複雑なテキストや、抽象的な話題について、主要な内容を聞き取ることができる。</p> <p>【話す】自分が想定していない状況においても、相手の協力を得られれば、ある程度創造的な中国語のやりとりができる。</p> <p>【読む】辞書の助けを借りなくても、新聞・雑誌や文学作品などを読み、大意を理解することができる。</p> <p>【書く】さまざまな選択肢についてその長所や短所を示し自己の視点を説明しながら、より正確で適切な語句や文を使って書くことができる。</p> <p>【語学検定試験】新HSK筆記5級・口頭試験高級</p>
<p><b>英語も TOEIC®テスト 500点レベルをめざす</b></p>		<p><b>英語も TOEIC®テスト 600点レベルをめざす</b></p>	

注：HSKとは、中国政府教育部（日本の文部科学省に相当）が公認する中国語能力試験「漢語水平考試」（Hanyu Shuiping Kaoshi）の頭文字をとった略称。国家漢弁（中国国家漢語国際推進事務局）が主催し、中国語を母語としない中国語学習者のために世界規模で行われている。